

あさか埋文レポート

Vol.03

埋蔵文化財最新発掘調査情報

◆朝霞市では、現在69か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設といった大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。

えのきど・すわはらいせき 榎戸・諏訪原遺跡第8地点

調査地：朝霞市岡一丁目地内

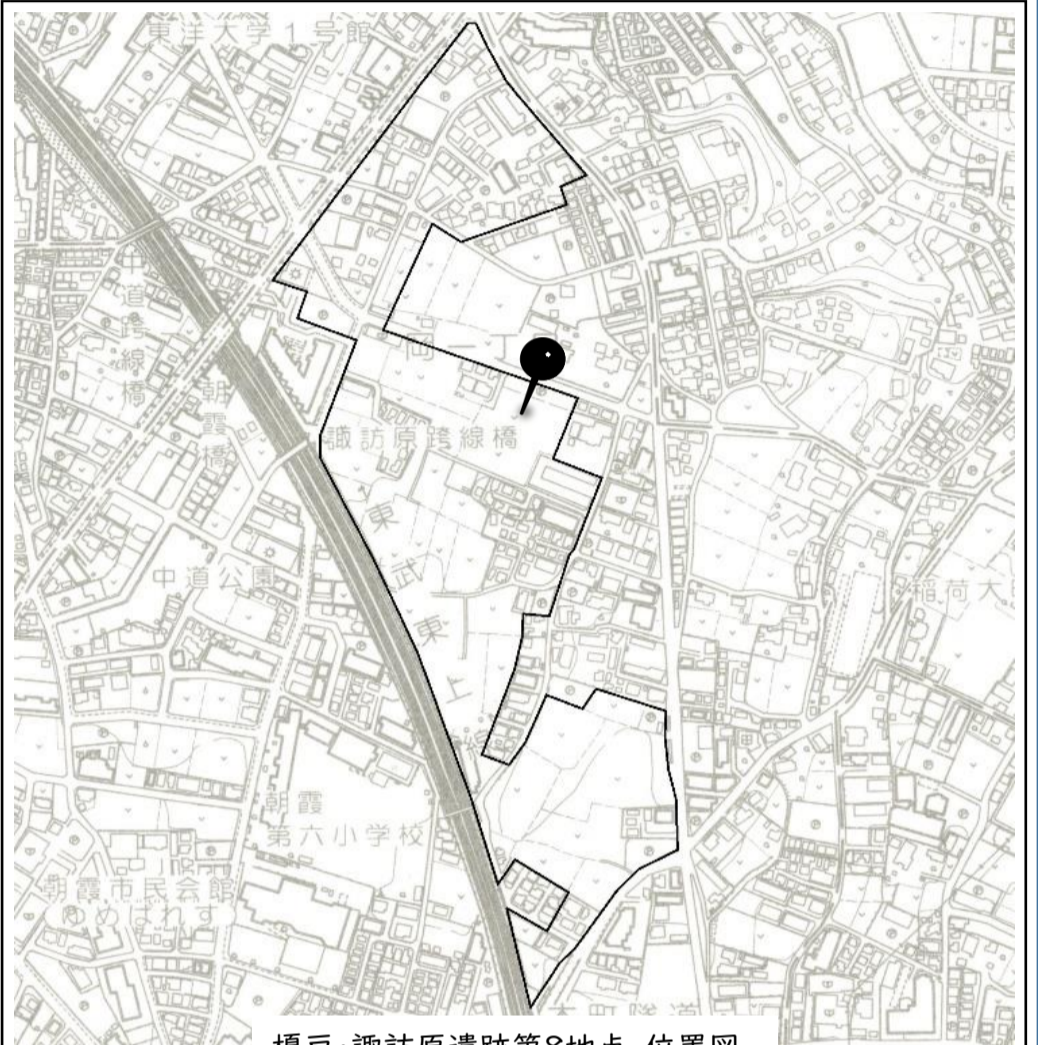
期間：令和2年8月19日～10月29日

調査面積：935.73㎡

◆今回の調査では、縄文時代の土坑27基、陥し穴3基、炉穴1基、ピット293基、古代以降の溝跡3条、土坑1基、ピット54基が検出が確認されました。

遺物は、縄文土器が大半を占めており、当遺跡における縄文時代の集落跡の検出を期待しましたが、調査の結果、住居跡といった人々の生活の跡は確認できませんでした。しかし、柱の穴にもなるピットが数多く検出されていることから住居跡があった可能性も考えられます。

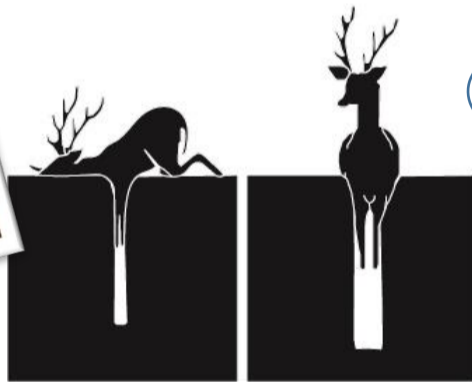
また、陥し穴が見つまっていることから時期によっては、集落外であり、狩猟場であった可能性も想定されます。



榎戸・諏訪原遺跡第8地点 位置図

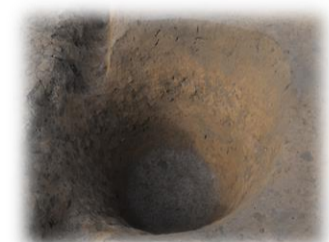


検出された縄文時代の陥し穴



陥し穴にはまるシカ(予想図)

狩る動物によって穴の形を変えてたのかな？



下の原第三遺跡で見つかった縄文時代の陥し穴



いっぱい穴が掘られてるね。
建物の柱の穴もあるのかな？



検出されたピット(小穴)群